



12/17

恋人の聖地にイルミネーション

瀬波温泉海浜公園内



▶午後10時まで点灯しています



瀬波温泉海浜公園の恋人の聖地でイルミネーションの点灯式が行われました。

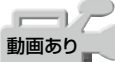
このイルミネーション名は「愛♡湯@SENAMI」（アイラブユ アット セナミ）。

瀬波温泉連絡協議会の浅野副会長は「この恋人の聖地を冬も明るく盛り上げようと企画しました。日本海の荒波を吹き飛ばすような情熱を灯せればと思っています。ぜひ、訪ねていただいてSNSなどで発信してほしいです」と話していました。

12/10

こだわりの塩引き鮭求め大盛況

新潟漁業協同組合山北支所



▶塩引き鮭約1000本がずらり



旬の地元塩引き鮭を即売する恒例の「イヨボヤまつり」。20回目となる今年は、寝屋漁港で水揚げされた鮭を寒風で仕上げた塩引き鮭を求めて、市内外から約650人が訪れました。

普段は魚の競りが行われる「荷さばき場」も、1本のロープが張られ、マラソン大会のスタートの様な光景が見られました。開会の合図と同時に、お目当ての鮭に走り出す様は、この時期の風物詩となっています。

12/22

子どもたちの笑顔が見たくて10年目

山北おおぞら保育園

▶サンタさんと一緒にハイポーズ



毎年、山北地区の各保育園にサンタクロースの仮装をして訪問している山北商工会青年部の皆さん。10年目となる今年も、園児一人ひとりにプレゼントを手渡し、一緒にクリスマス会を楽しみました。

部長の斎藤信秋さんは「子どもたちのキラキラした目に大人の方が夢と感動をもらえるので、毎年楽しみにしています」とほほ笑みながら話してくれました。

地域の子どもたちに夢を与えたいとの思いが、この活動をつないでいるようです。



12/11

江戸時代から続く伝統行事「お里様」
塩野町集落

▶行事を盛り上げる派手なメイク



その年に結婚した男性などの若衆が、しめ縄を担いで地元熊野神社に奉納する奇祭「お里様」。250年以上の歴史があるこの祭りは、市の無形民俗文化財に指定されています。

この日は時折雪が舞い散る中、担ぎ手が顔に墨や赤い絵の具で派手な化粧をし、女性用のピンク色の艶やかなじゅばんを身に着け、巨大なしめ縄と酒だるを担ぎながら集落を練り歩きました。

12/31

2年参りで神社をライトアップ 桃川神社



◀家族で2年参り

住民有志で始まった桃川神社での年越しイベントも今回で2回目。2年参りに合わせて神社をライトアップし、温かい甘酒と玉こんにゃくが参拝者へ振る舞われました。

参拝者は笑顔で新年のあいさつを交わし、新しい年の幸せを祈願していました。

12/18

海と川どちらの塩引き鮭がおいしい？ クリエート村上



▶塩引き鮭の味の違いを楽しむ参加者

越後村上鮭塩引きまつりの締めくくりである『三面川で捕れた鮭』と『海で捕れた鮭』で作った塩引きを食べ比べてみよう』が行われました。参加者は、ご飯と鮭汁とともに三面川と海の塩引き鮭を味わいながら、違いを比べていました。

石川県から参加した浅野さん夫婦は「村上市への旅行を計画中に、ちょうどこの試食会を見つけて申し込みました。初めて塩引き鮭を食べましたが、どちらもとてもおいしいです」と話してくれました。

1/8

伝統行事で世代間交流 荒島集落開発センター



▶まゆ玉づくりに励む子どもたち

荒島集落で小正月の伝統行事である「まゆ玉づくり」が行われ、お年寄りや子どもたちが赤や緑色に染めた団子を木に飾り付け、交流を深めました。

準備に携わった磯部忠三さんは「まゆ玉づくりは、昔はどここの家庭でも行われ、団子のほか、願い事を記した紙や紙風船、星型のもちなどを飾りつけたものです。花のない冬時季に家庭の中を華やかにしてくれる楽しい行事でした」と、当時の様子を懐かしみながら話してくれました。

1/1

伝統の獅子舞を披露 大場沢公民館



▶現在使用されている獅子頭は三代目

元日に行われた大場沢集落の一統礼会で、大場沢獅子舞保存会による恒例舞が披露されました。

この獅子舞は、今から数百年前、当時の大場沢城主鮎川氏出陣の際、その勝利と武士達の安全を祈願して舞ったといわれ、市の無形民俗文化財に指定されています。

参加した住民25人は迫力ある舞を楽しみ、新年の幕開けを祝いました。